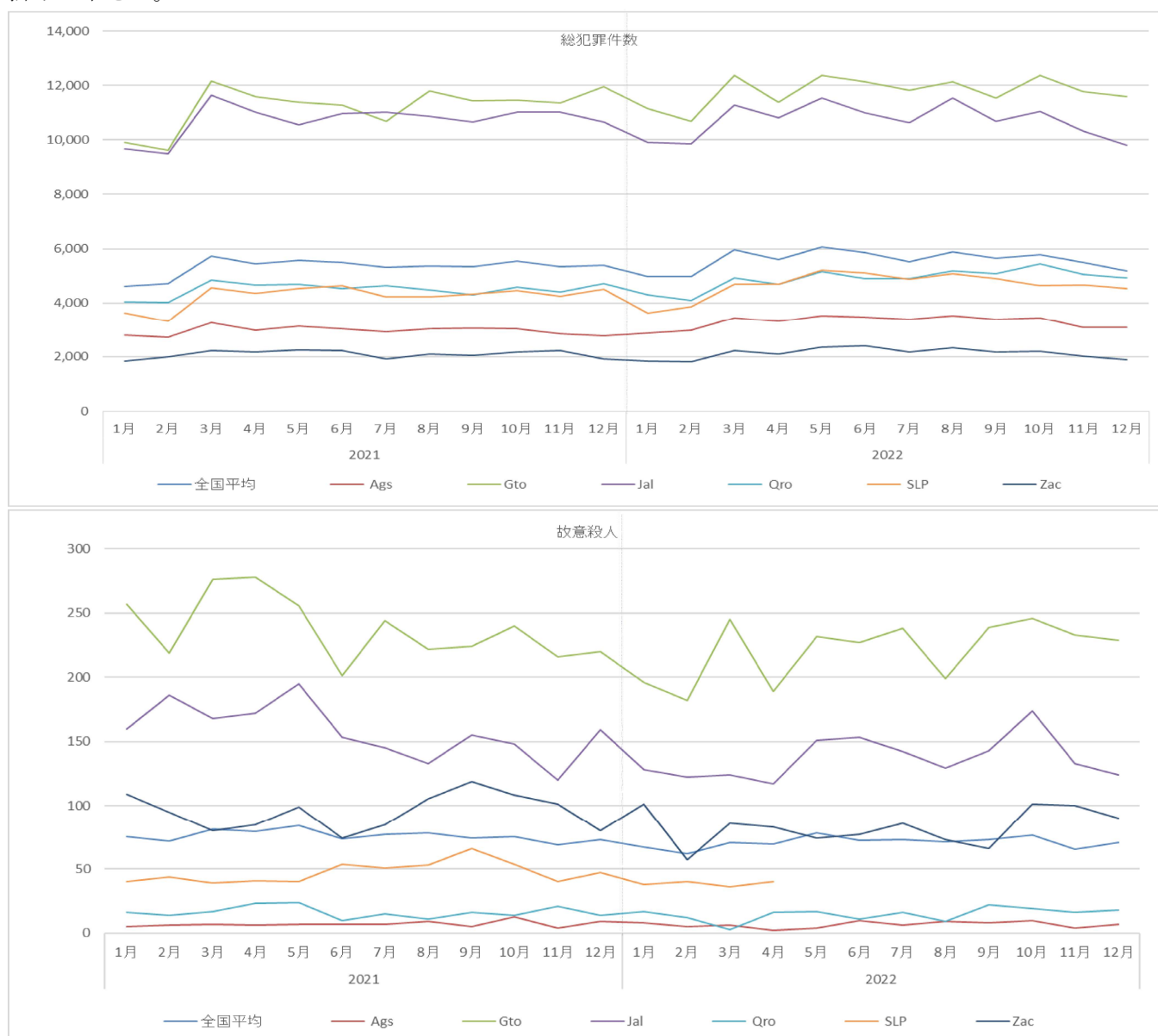
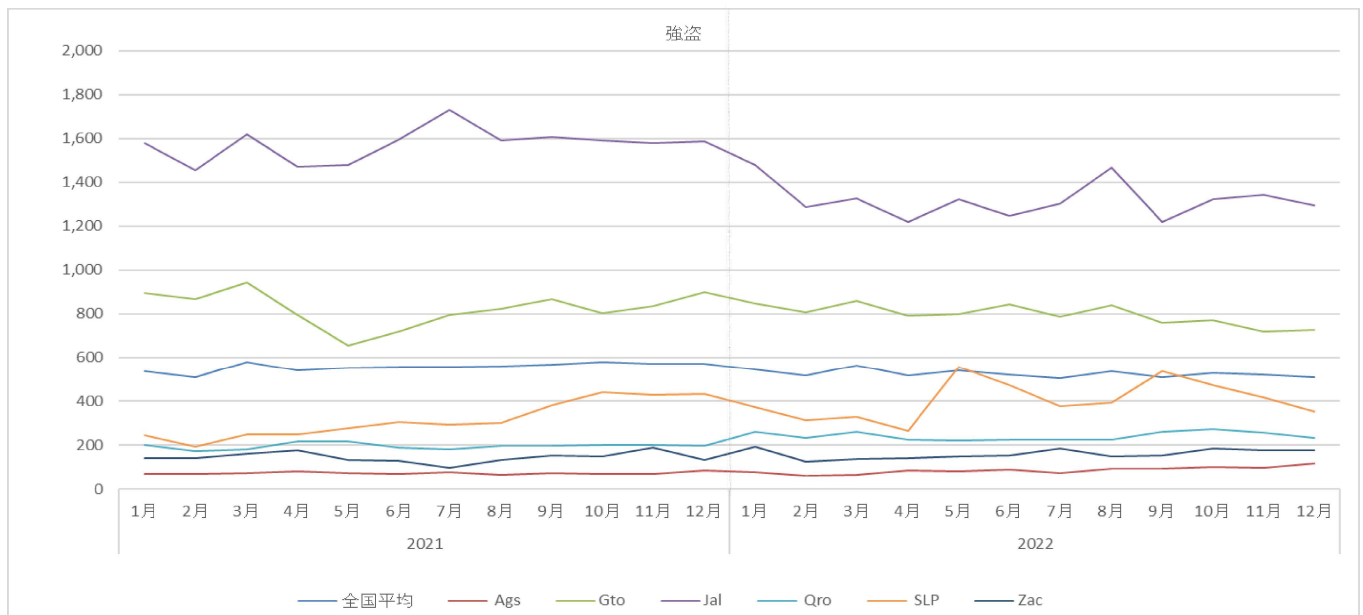


1 治安・社会情勢

メキシコ国内では複数のカルテル（麻薬組織）が存在しており、故意殺人の多くはカルテルによる抗争が大きく関係していると言われています。特にグアナフアト州は、サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）とハリスコ新世代カルテル（CJNG）との抗争が数年間続いている影響もあり、全国的にも故意殺人が多く発生している州となっております。近年では CSRL は弱体化していると言われておりますが、シナロア・カルテルも本格的に CJNG と抗争を始めたとの情報もありますので抗争はまだ続くと考えられます。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者などの犯罪組織に関わる者と言われておりますが、カルテル同士の銃撃戦に一般市民が巻き込まれたり、誤認により殺害されるケースもあるため十分注意が必要です。

当館管轄の6州では、最近サカテカス州も激しい抗争地域となっており、凄惨な事件も多く報道されております。隣接しているアグアスカリエンテス州でも、サカテカス州の抗争に関連するような事件や逮捕者も出ており、州境には警察を配備するなど緊張が高まっております。国内でカルテルが活動していない州はなく、複数のカルテルが1つの州内で活動していることも多く、カルテル同士で協定を結び上手く棲み分けしている州（地域）は故意殺人が少ない傾向にありますが、グアナフアト州やサカテカス州のように、何かのきっかけで抗争が始まれば治安は一気に悪化する可能性もありますので、治安情報は常に新しい情報を入手するよう心掛けて下さい。





2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナファト州

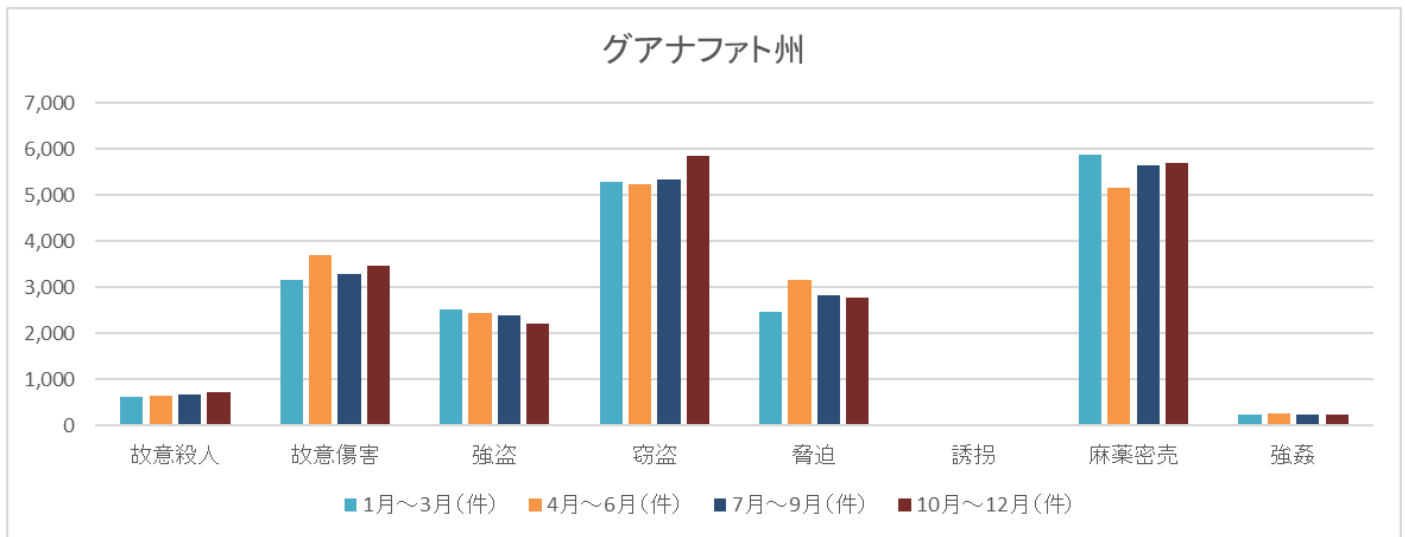
・人口約616万人 犯罪認知総数(10月～12月)35,736件

故意殺人の件数は緩やかに減少しておりましたが、2022年に入り増加傾向となっていることから、カルテルの抗争が激化していると予想されます。治安関係者や一般市民を巻き込んだ銃撃事件や複数の小規模店舗を同時に放火する事件が発生しております。それに加えて強盗の件数も他州に比べて高いため、十分注意が必要です。

・邦人被害(10月～12月)4件(強盗被害1件、車上狙い被害3件)

20時半頃、レストランで食事を終え100メートル程度離れたホテルに徒歩で向かっていたところ、ホテル入口付近に停車していた車両から男4名が下りてきてバック(旅券、パソコン等在中)を強奪される被害が発生しております。夜間帯や人通りの少ない道路は路上強盗のリスクが高く、犯人も複数名で銃器を使って犯行におよぶこともあります。たとえ短い距離であっても時間帯や人通りが少ないようであれば、Uberなどを利用して下さい。車上狙いは邦人被害の多い犯罪です、貴重品は必ず携行して車内にはモノを残さないように徹底して下さい。また、駐車する位置も人の目がある入口付近や警備員がいる位置などを選定して駐車して下さい。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)
故意殺人	623	648	676	708
故意傷害	3,146	3,700	3,287	3,471
強盗	2,512	2,437	2,390	2,218
窃盗	5,283	5,236	5,343	5,840
脅迫	2,466	3,144	2,817	2,767
誘拐	3	2	1	1
麻薬密売	5,861	5,153	5,644	5,701
強姦	226	267	240	220



(2) アグアスカリエンテス州

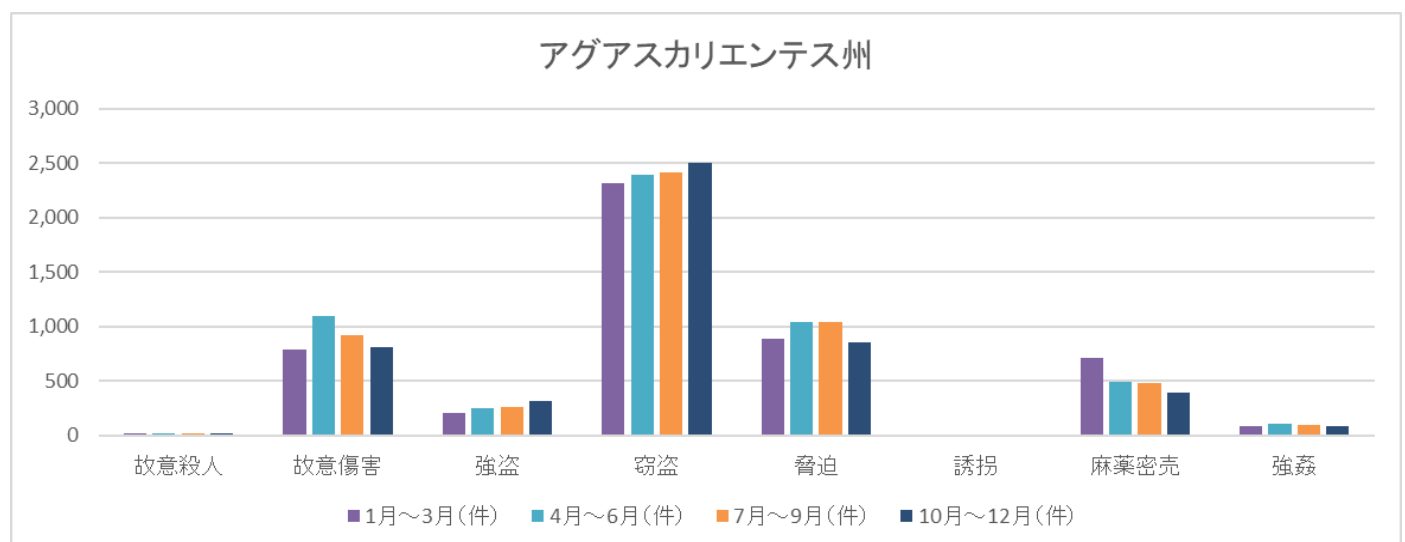
・人口約142万人 犯罪認知総数(10月～12月) 9,627件

犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率(人口の割合)では窃盗や強盗が多く発生している州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市で発生しており、窃盗の中でも特に車上荒らしは邦人被害が多いため、駐車する位置は人目の多いところを選定し、貴重品は車内に残さないといった対策を徹底してください。

・邦人被害(10月～12月) 0件

10月～12月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)
故意殺人	19	17	23	21
故意傷害	787	1,090	920	809
強盗	203	254	256	314
窃盗	2,320	2,391	2,418	2,505
脅迫	887	1,036	1,040	856
誘拐	1	0	1	1
麻薬密売	714	490	479	396
強姦	85	104	93	80



(3) ハリスコ州

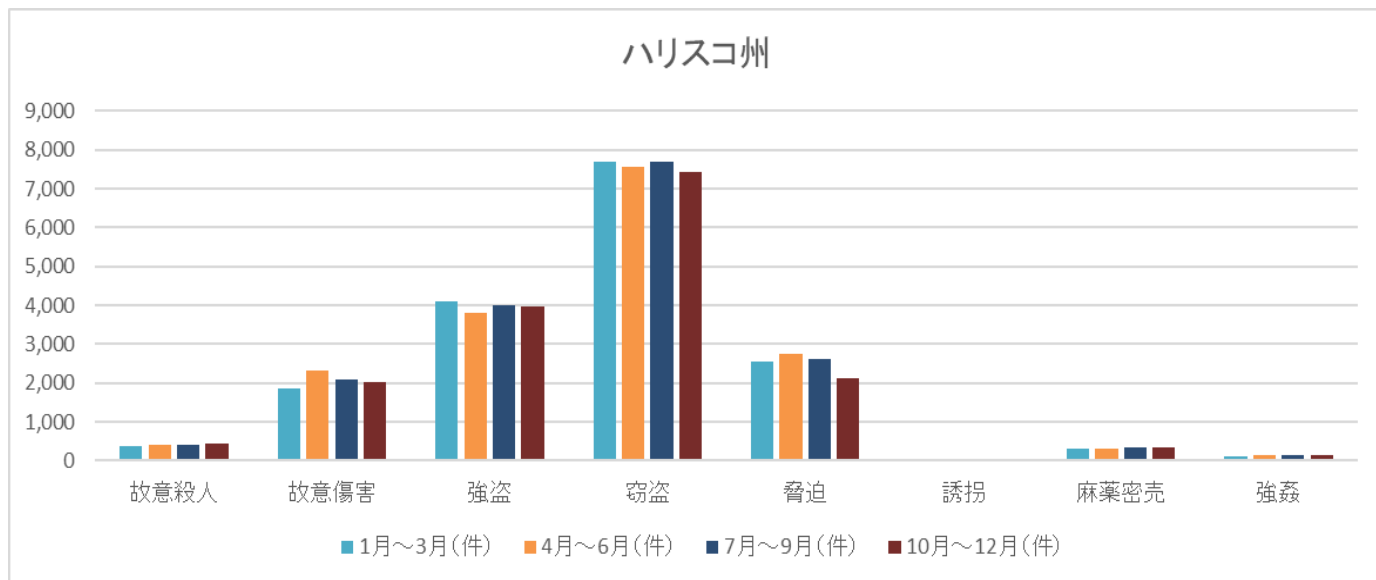
・人口約834万人 犯罪認知総数（10月～12月）31,187件

強盗が非常に多く発生している州です。強盗は邦人被害件数も多い犯罪で、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く注意が必要です。高速道路上でも被害が発生しており、とりわけ早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。

・邦人被害（10月～12月）

10月末、18時頃、グアナファト州レオン市からアグアスカリエンテス州に向かうため、有料高速道路（45D号線）を走行していたところ、エンカルナシオン・デ・ディアス市に差し掛かる手前で、犯人が乗る白色のピックアップ車両に追い抜かれ、銃器で威嚇され前方を塞がれた。その後、被害者は手足を縛られ犯人車両に一時監禁、車両及び所持品をすべて強奪された後に脇道で開放される被害が発生しています。このような被害は避けることが難しいものの、強盗被害に多い手口になりますので十分注意して下さい。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)
故意殺人	373	420	413	431
故意傷害	1,867	2,307	2,099	2,027
強盗	4,098	3,799	3,985	3,961
窃盗	7,702	7,574	7,677	7,412
脅迫	2,556	2,740	2,629	2,135
誘拐	6	7	5	3
麻薬密売	318	318	347	339
強姦	110	131	140	145



(4) ケレタロ州

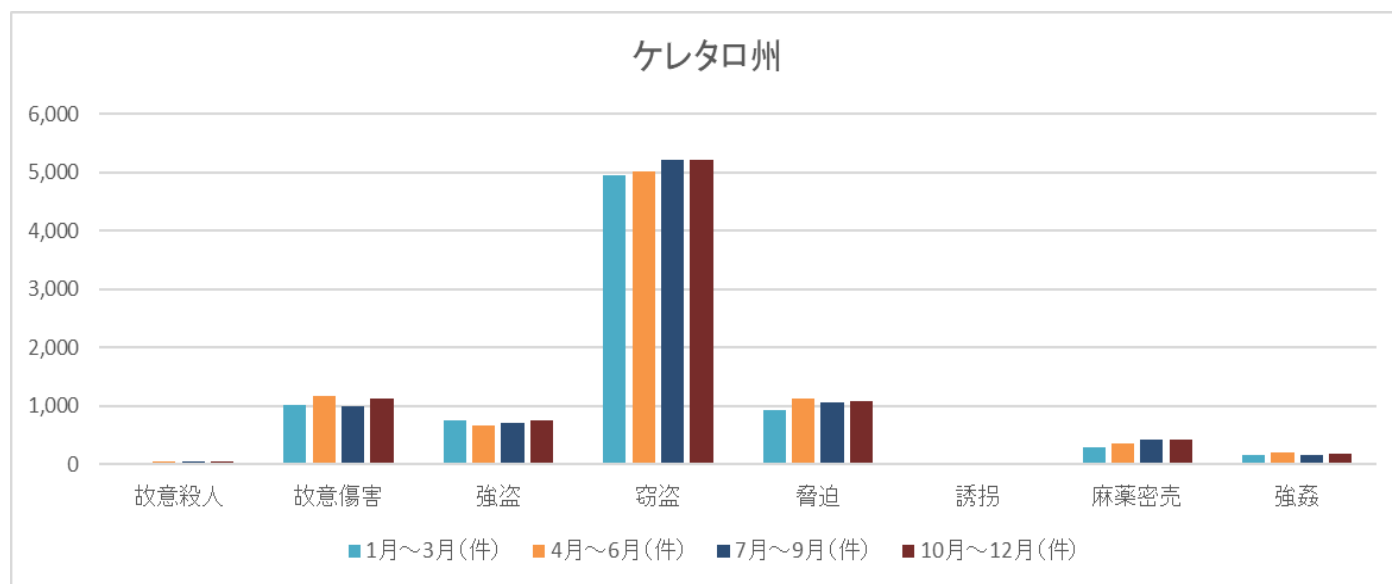
・人口約236万人 犯罪認知総数（10月～12月）15,425件

故意殺人の件数は少ないですが、犯罪の多くがケレタロ市で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナファト州やメキシコ州、メキシコシティの治安も悪く、車両強盗も多く発生していますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路を利用して下さい。

・邦人被害（10月～12月）0件

10月～12月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)
故意殺人	33	45	46	53
故意傷害	1,026	1,168	1,001	1,125
強盗	754	672	707	760
窃盗	4,951	5,010	5,209	5,213
脅迫	928	1,119	1,070	1,085
誘拐	4	3	1	4
麻薬密売	288	362	425	432
強姦	154	196	162	172



(5) サンルイスポトシ州

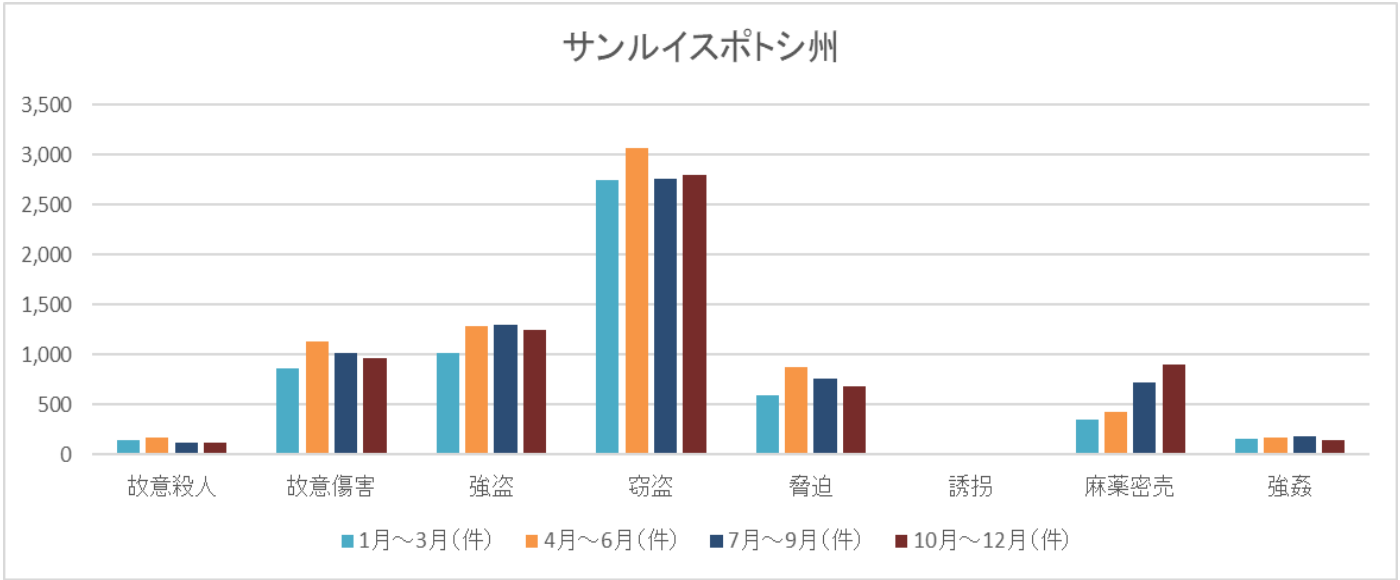
・人口約282万人 犯罪認知総数(10月～12月) 13,847件

強盗件数が増加傾向にあります。早朝や夜間のガソリンスタンドやコンビニの利用は可能な限り避けてください。特に犯罪の多くはサンルイスポトシ市で発生しておりますので注意して下さい。

・邦人被害(10月～12月) 0件

直近の犯罪被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)
故意殺人	145	174	125	116
故意傷害	859	1,131	1,019	963
強盗	1,012	1,289	1,304	1,241
窃盗	2,745	3,067	2,760	2,797
脅迫	587	870	760	687
誘拐	6	1	2	2
麻薬密売	350	432	726	900
強姦	153	169	178	144



(6) サカテカス州

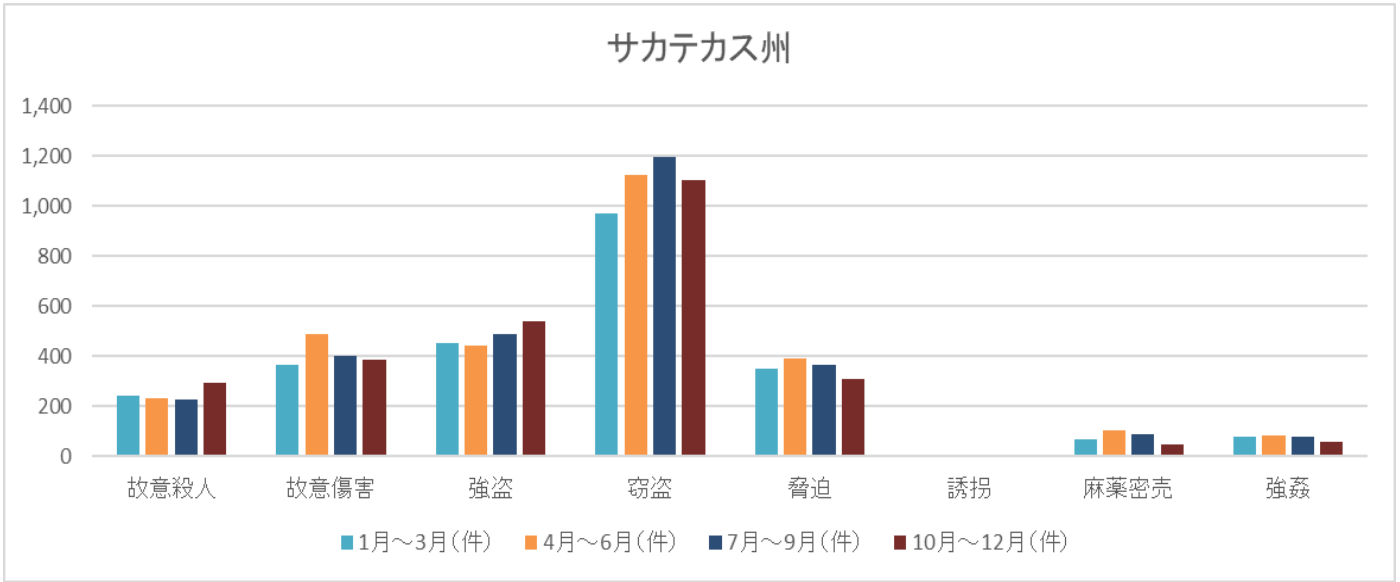
・人口約162万人 犯罪認知総数(10月～12月) 6,116件

故意殺人の犯罪発生率(人口の割合)は、他の州と比べても非常に高い数値となっています。殺人の多くは麻薬関係者と言われておりますが、サカテカス州では複数の麻薬カルテルが抗争を行っているため、十分注意が必要です。

・邦人被害(10月～12月) 0件

直近の犯罪被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)
故意殺人	241	231	225	291
故意傷害	367	487	399	385
強盗	453	439	486	539
窃盗	970	1,122	1,198	1,105
脅迫	348	391	365	308
誘拐	4	2	1	1
麻薬密売	69	104	86	47
強姦	79	83	75	58



3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) メキシコ国内では、麻薬に関係する犯罪組織の抗争が激化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやクラブ等の出入りについて極力避けるとともに、違法薬物には一切かかわらないことが大切です。また昼夜を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、発砲事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意して下さい。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域への通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げるのが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる死傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従って下さい。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車上荒らしが引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が必要です。
- (4) バヒオ地区内では空き巣被害や強盗被害が目立ちます。万が一にも空き巣被害を確認した際には、まずは911（警察、消防、救急への緊急通報番号）通報し警察官同行のもと住居内の確認を行って下さい。犯人が住居内に残っていた場合、拳銃等を所持している可能性が非常に高いことから、住居区の警備員の同行があっても必ず警察官の到着を待って下さい。また、強盗被害に遭遇した場合は、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先して下さい。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず911番通報を行うよう心掛けて、犯人の逮捕を希望する場合は、検察局（Ministerio Publico）に被害届を提出して下さい。被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様へ注意喚起することができるとともに、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができるためご協力をお願い致します。

5 日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載しておりますので、ご参照下さい。

以上